

3 芝山らしく空港を生かしたまちづくり

仕事

農林業、商工業、観光、高規格道路・広域連携道路 など

3-1 持続可能な農林業を振興する	3-1-1 農業生産体制の維持
	3-1-2 農用地と営農環境の保全
3-2 地域を活性化し雇用を育む商工業を振興する	3-2-1 商工業経営基盤の強化と創業支援
	3-2-2 雇用の維持・確保と新たな雇用創出に向けた取組の推進
3-3 芝山の魅力を発見・発信する観光を振興する	3-3-1 観光客を呼び込むための環境整備
	3-3-2 地域の魅力発信
3-4 産業を支える道路を整備する	3-4-1 国県道及び空港関連道路の整備促進

3-1 持続可能な農林業を振興する

3.1.1 農業生産体制の維持



めざす姿

次世代を担う農業者の育成や農業所得の向上により、芝山が誇る農産物が将来にわたって安定的に供給されています。



現状と課題

- 農林業における担い手の高齢化や後継者不足等問題は、今後もより深刻になることが予想されます。林業については、有害鳥獣対策や災害対策などの観点からも森林や里山の管理が求められます。農業についても引続き、持続可能な法人組織の体制構築や新規就農者の育成・支援に向けて、生産者や関係団体と一丸となって取り組み、芝山町の基幹産業である農業の担い手確保に取り組む必要があります。
- 新型コロナウイルス感染症をはじめ私たちの健康を脅かす様々な外的要因があるなかで、食の安全を求める消費者は今後も増加すると見込まれることから、新鮮で安全な農産物の供給とそれを支える持続可能な事業経営が求められています。
- 現在、町では環境にやさしい農業に取り組む農業者を支援しており、今後は、農業の魅力及び生産性の向上のため、ロボット技術やICT等の先端技術の導入、スマート農業や多様な農作業従事形態の構築、販売力の強化など新しいアプローチを検討していく必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
農業所得のある町民の数 【担当課調べ】	546 人 (2019年5月31日現在)	➡(維持)



基本事業の展開

(1) 農業者への支援

集落営農の法人化など経営形態の改善を図る農業者への支援や環境にやさしい農業に取り組む農業者への支援等を通じて、認定農業者や新規就農者の確保・育成に努めます。

主な事業	担当係
集落営農経営育成事業	農政係
認定農業者育成事業	農政係
農業次世代人材投資事業の啓発	農政係
環境保全型農業推進事業	農政係

(2) 地元農産物の更なる魅力向上

農業協同組合との連携により、地元農作物を活用した学校給食の提供のほか、はにわ祭り等の各種イベントにおける PR 等を進めるとともに、新たな農産物（品種）や加工品開発等を行い、地元農産物の更なる魅力向上に向けた取組を推進します。

主な事業	担当係
地産地消事業 ※p107（施策 411）にも掲載	農政係
各種の農業団体と連携事業	農政係

地元の新鮮野菜



3 1 2 農用地と営農環境の保全



めざす姿

農地や農業用水路等の保全活動に、農業者のみならず、地域全体で取り組み、多面的な機能が発揮され、良好に保全された農地が広がっています。



現状と課題

- 農用地については、農業者の高齢化や後継者不足に伴い耕作放棄地が拡大しており、健全な農業を営む耕作地にも影響が出始めています。
- 町では「人・農地プラン」の策定を進めており、担い手の確保や農地利用など地域農業のあり方について、地元農家や新規就農者、農地の貸し出しを希望する人などの農業関係者が参加した話し合いをもとに、取組を進めています。今後も地域の実情を踏まえながら、農地の集積や集約化を促進していく必要があります。
- 海外企業が種苗の研究施設を町内に建設するなどの動きもみられることから、農地集積や集約化と併せて、こうした農地を有効活用できる企業等の誘致にも取り組む必要があります。
- 次世代の就農者へ質の高い営農環境を継承していくため、農業用水の安定的な確保と地域農業の振興につながる新たな農用地の整備が重要となります。現在、多くの農地は成田用水土地改良区から農業用水を受水しており、管理開始から 40 年が経過したことによる老朽化対策や耐震補強が課題となっていることから、当該土地改良区による成田用水施設改築事業を促進していく必要があります。また、建設予定の第 3 滑走路（C 滑走路）の排水先である高谷川については、沿道整備はもとより、沿川の水田地帯においても、県や NAA との協力・連携の下、各種事業を活用した大規模ほ場整備等の実施を推進していく必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
耕作放棄地面積 【担当課調べ】	1,417,750 ㎡ (2019 年度)	➡ (減少)



基本事業の展開

(1) 農地の有効活用

農業委員会(農業委員・農地利用最適化推進委員)と連携し、地域の農地利用状況の把握に努めるとともに、農地所有者のニーズに対応すべく、農地中間管理事業や流動化推進事業の活用を促進し、次の担い手への橋渡しを支援します。

主な事業	担当係
農地中間管理機構活用事業	農政係
農地流動化推進事業	農政係
担い手・次世代就農者のためのほ場整備	農政係
成田用水施設改築事業	農政係
農業振興地域整備計画の見直し事業	農政係

稲刈りのようす



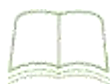
3-2 地域を活性化し雇用を育む商工業を振興する

3 2 1 商工業経営基盤の強化と創業支援



めざす姿

地域資源を活用した商工業の振興を図ることで、経営基盤の安定や新規創業等が進み、地域経済が活性化しています。



現状と課題

- 本町の商工業を取り巻く環境は、周辺市町への大型商業施設の進出、量販店・コンビニエンスストアの増加及びインターネットショッピングの拡大をはじめとした、買い物環境の変化や消費者ニーズの多様化、購買力の低下、後継者不足等により、地元商店街の空き店舗の増加や地域の活力低下を招いており、その状況は今後ますます厳しくなることが予想されます。
- その一方で、成田空港に隣接するという立地特性を活かして、空港南部工業団地を中心に国際物流施設の集積が進んでいます。新型コロナウイルス感染症の状況下において、成田空港の国際線の旅客便は大幅に減少したものの、国際線貨物便数は大きく増加し、令和2年（2020年）上半期では開港以来過去最多を記録している状況です。
- 今後、成田空港の更なる機能強化及び圏央道の整備により、人やモノの行き来は更に拡大し、それに起因した民間企業の立地ニーズも高まることが予想されることから、町としても積極的に多くの企業を呼び込み、地域活性化につなげていく必要があります。
- また、町内で新ビジネスに取り組む方向けの支援制度の創設や既存の中小企業に対する支援を継続して行うなど、新規参入事業者から既存事業者まで幅広いアプローチを展開し、地域の実情を踏まえた商工業の振興が図られるよう経営基盤の強化や人材の育成を図っていく必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
町内で買い物することが多いと回答した市民の割合 【町民意識調査結果】	28.76% (2020年度)	↗ (増加)
町内の法人数 【担当課調べ】	500 法人 (2019年7月1日現在)	↗ (増加)



基本事業の展開

(1) 企業の誘致 重点

新たな雇用の場の確保と産業活動の活発化を図るため、本社機能移転を含めた企業誘致PR活動を積極的に進めるとともに、既存の企業誘致条例の見直し等を行い、町内での事業展開の優位性を高めていきます。

主な事業	担当係
企業誘致促進事業	企画調整係

(2) 新ビジネス創業支援

町内での創業希望者に対して、施設や資金、手続き等幅広い視点から相談支援を行い、若者や退職者等やる気のある人の新ビジネスの展開を支援します。

主な事業	担当係
芝山町創業者育成事業	企画調整係

(3) 商工会との連携と中小企業支援

商工会と連携し、小規模事業振興基本法に基づく中小企業の経営基盤の強化に向けた情報提供や研修・指導事業、各種融資制度の斡旋などを通して、小規模事業者が安定的かつ継続的に事業展開できる環境整備や経営能力、資金調達力等の強化を支援し、中小企業等の持続的な発展を図ります。

主な事業	担当係
小規模事業者経営改善資金（マル経融資）・利子補給補助金	産業振興係
中小企業振興融資預託金	産業振興係



〔当該施策の関連計画〕

計画名	計画年度 ※西暦
創業支援等事業計画	2019～

3 2 2 雇用の維持・確保と新たな雇用創出に向けた取組の推進



めざす姿

雇用の維持・確保や新たな雇用創出により、芝山町での働きやすさ、暮らしやすさを実感できています。



現状と課題

- 芝山町においても全国の多くの市町村と同様に人口減少が続いており、生産年齢人口の減少に伴う働き手の不足など、地域の経済力及び魅力の低下が危惧されています。そのため、人口減少に歯止めをかけ、まちに賑わいや活気を生み出すために、町民の雇用確保に取り組み、働きやすい、暮らしやすいまちへの好循環を生み出すことが大変重要な課題となっています。
- こうしたことから、芝山町では令和2年（2020年）3月に「第2次芝山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、その基本目標で「安定した雇用を創出し、安心して働ける環境を整備する」に向けた取組を進めています。
- 町には騒音区域として成田国際空港株式会社（以下、NAAと略す）が所有している土地が多く存在しており、以前からその土地を有効活用した経済の活性化に向けて具体的な取組を検討してきました。今後、成田空港の更なる機能強化で騒音区域も拡大されることから、これまで以上にNAAと協力し積極的な活用策を見出す必要があります。
- 雇用の場の確保に併せ、性別や国籍、障がいの有無などにかかわらず、働く人の置かれた事情に応じて多様な働き方が選択できるよう、働き方改革を推進し、ワーク・ライフ・バランスの向上や男女共同参画社会の実現に取り組んでいくことも求められています。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
有効求人倍率（成田所管内） 【担当課調べ】	0.88 倍 (2020 年平均)	↗ (増加)
町内や周辺に働く場所が十分あると回答した町民の割合 【町民意識調査結果】	23.96% (2020 年度)	↗ (増加)



基本事業の展開

(1) 町内での就業や雇用の支援 重点

町内での雇用促進策として若者向けの家賃補助等を検討するなど、若い世代が町内で働ける環境を整備します。成田空港の更なる機能強化と連動して、関係機関や空港周辺自治体と連携し、成田空港エリアで活躍できる人材育成と就業支援に努めます。

主な事業	担当係
雇用促進事業	企画調整係
成田空港と空港のしごとを知る講座事業	企画調整係

(2) 土地の有効活用による働く場所の確保 重点

新たな産業用地の創出に向けて千葉県や NAA と連携し積極的な土地の有効活用を検討します。町民の雇用確保に向けて、にぎわいの創出や企業立地を進め、環境や安全に配慮した快適な環境整備を図ります。

主な事業	担当係
産業用地創出事業<再掲> ※ p41（施策111）にも掲載	企画調整係

3-3 芝山の魅力を発見・発信する観光を振興する

331 観光客を呼び込むための環境整備



めざす姿

町特性を生かした観光振興により、豊かな自然と空港との共生という他では味わえない体験を観光客に提供しています。



現状と課題

- 町内には、自然環境の豊かさ、田園景観や花きなどの農業・農村資源、芝山古墳群や奈良時代に創建された名跡「芝山仁王尊観音教寺」など歴史文化に由来する資源が多くあり、その他、町民の憩いの場として親しまれている「芝山公園」があります。
- また、航空分野を紹介する「航空科学博物館」や空の駅「風和里しばやま」、「芝山水辺の里」、「ひこうきの丘」など空港南側エリアを「スカイパークしばやま」と総称し観光施策を推進しています。
- 平成30年（2018年）4月には空の駅「風和里しばやま」にバーベキューハウスをオープンさせ、更なる魅力向上を図っているほか、令和元年（2019年）12月には民間による温浴施設もオープンするなど集客につながる施設の集積も進んでいます。
- このため、日本で最も海外からの観光客が降り立つ成田空港という地の利を生かし、町内の観光振興を図るために、成田空港隣接エリアだけでなく、町内に点在する観光施設やそれらを結ぶ公共交通網などのインフラ整備を進めていく必要があります。



施策の指標

指標名 【内は出典】	現況値	目標
町内に魅力ある観光スポットがあると回答した町民の割合 【町民意識調査結果】	15.59% (2020年度)	↗ (増加)



基本事業の展開

(1) 特産物を生かした観光の推進

「道の駅 風和里しばやま」「空の駅 風和里しばやま」や事業者等との連携により、季節に応じた新鮮な地元の農産物の販売促進やさらなる特産品の開発等を進め、町外からの人を呼び込む、特産物を生かしたまちづくりを推進します。

主な事業	担当係
「風和里しばやま」運営支援事業	産業振興係
道の駅周辺整備事業	産業振興係

(2) 集客交流の仕掛けづくり

体験農園の整備や里山体験、まち歩き観光など、町内の観光を推進する団体への支援及び促進に努めます。また、案内掲示板、トイレの整備などと併せて、レンタサイクル事業なども推進します。

主な事業	担当係
体験農園の整備	産業振興係
「スカイパークしばやま」整備事業の促進	産業振興係
観光竹の子園運営事業	産業振興係
自転車利用推進事業	企画調整係 産業振興係

(3) 新たな地域振興施設（観光拠点）の整備 重点

成田空港の更なる機能強化と圏央道の整備による圏域のポテンシャルを活かし、NAA などの関係機関との協力・連携の下、成田空港周辺市町が一体となった観光の PR 拠点として、圏央道から直接利用が可能な観光・交流機能や防災拠点機能を兼ね備えた複合施設の整備を推進します。

主な事業	担当係
圏央道を活用した地域振興施設（観光拠点）の整備＜再掲＞ ※p45（施策113）にも掲載	市街地整備準備室 産業振興係

3 3 2 地域の魅力発信



めざす姿

あらゆる媒体で町の観光・イベント情報が発信されているとともに、事業者や関係団体等との協働による観光・イベント事業が多角的に展開されており、交流人口が増加しています。



現状と課題

- 観光ニーズは、見る観光から体験・体感する観光へと移っています。地域資源を活かした体験型の観光メニューづくりなど、地域住民が主体となった新たな観光産業の創出が求められています。
- 今後は、こうした町内の観光メニューやイベント等について、町ホームページの充実に加え、Facebook や Twitter などの SNS の活用、アウトドアメーカーの登録会員向けに自治体等が地域の情報を発信する観光誘致 PR など、多様な媒体を駆使した情報発信を進めていく必要があります。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
観光入込客数 【担当課調べ】	442,575 人 (2019 年度)	↗ (増加)
町ホームページ「観光情報」へのアクセス数 【担当課調べ】	4,431 件 (2019 年度)	↗ (増加)



基本事業の展開

(1) DMO、大学等と連携した交流促進策の構築

観光振興を戦略的に進めていくことができるよう、DMOや大学等との連携による地域資源を活用した交流促進を進め、積極的な体験型の観光メニューの創設に取り組みます。

主な事業	担当係
DMO、大学等と連携した交流促進事業	企画調整係
農泊推進事業	企画調整係

(2) 各種団体等との協働による観光イベントの実施

芝山町観光協会をはじめ各種団体と協働で、芝山町の魅力発信に資するイベントの開催に取り組みます。

主な事業	担当係
芝山町 PR 事業	産業振興係 情報公聴係
インバウンド誘客事業	産業振興係

DMOによるイベントのようす



3-4 産業を支える道路を整備する

341 国県道及び空港関連道路の整備促進



めざす姿

広域道路の整備を促進することで、利便性の高い道路ネットワークによる人やモノの交流が進んでいます。



現状と課題

- 令和6年度（2024年度）開通予定の圏央道（大栄JCT～松尾横芝IC間）や国道296号等は本町と周辺都市をつなぐ広域的な道路網を形成しており、今後も人とモノの円滑な移動を支え、地域の発展に寄与する道路網として計画的な整備・管理が求められています。
- 成田空港の更なる機能強化に伴い、町内外からの多くの交通量の流入が見込まれることから、利便性の向上による効果を地域全体に波及できるよう、周辺市町との広域連携を図りながら、成田空港へのアクセス向上や地域の周遊性向上につながる第3滑走路（C滑走路）横断道路等の整備に向けた取組を進めていくことが求められます。
- 圏央道の早期供用開始を促進するとともに、更なる利便性向上のため、成田空港と直結するインターチェンジの設置及び銚子連絡道路整備についても関係機関と協議を重ね、実現化に向けての取組を進める必要があります。
- 南北軸である主要地方道成田松尾線（芝山はにわ道）と東西軸である国道296号についても、今後の交通量増加に対応する処理能力の強化が求められています。



施策の指標

指標名 【】内は出典	現況値	目標
道路網が整備されていると感じる町民の割合 【町民意識調査結果】	27.92% (2020年度)	▲ (増加)



基本事業の展開

(1) 高規格幹線道路等の整備促進 重点

圏央道及び銚子連絡道路については、関係機関と連携・協力し早期供用開始を促進します。また、成田空港の更なる機能強化に伴い交通量の増加が見込まれるため、圏央道と空港を直結する新たなインターチェンジの設置について、関係機関と連携・協力し実現に向けて取組を進めます。

主な事業	担当係
首都圏中央連絡自動車道整備促進	道路建設係
銚子連絡道路整備促進	道路建設係

(2) 幹線道路の整備促進 重点

町内外の各地を結ぶ幹線道路については、成田松尾線の4車線化をはじめ、大里小池線、八日市場八街線の県道改良を促進します。また、成田空港の第3滑走路（C滑走路）横断道路・外周道路及び空港機能強化に伴う機能補償道路（高谷川沿い道路等）の整備を促進するとともに、周辺市町との広域連携による新たな幹線道路等の整備に向けた取組を進めます。

主な事業	担当係
第3滑走路（C滑走路）横断道路・外周道路整備促進	道路建設係
はにわ台～国道296号間道路整備促進	道路建設係
県道改良促進（成田松尾線、大里小池線及び八日市場八街線）	道路建設係
高谷川沿い道路整備事業	都市計画係 道路建設係



〔当該施策の関連計画〕

計画名	計画年度 ※西暦
芝山町道路整備計画	2018～
芝山町都市計画マスタープラン	2019～2038
成田空港周辺の地域づくりに関する「基本プラン」	2018～2032
成田空港周辺の地域づくりに関する「実施プラン」	2020～2032

